

【刊夕】日九十月二

# 常新新聞

第五五號 郵部特許 一月五錢 部金一價

錢十五行一語字三十號五 料告廣

治文崎川人刷印人辦編兼行發

五三町橋長町平郡城石縣島福

番〇三六話電 社開新日每警常 所行發

社會式株刷印日每警常 所刷印

## 學問をする精神

宇野 共次

現代は學問の時代だ。無學者は有學者に敵せない。ところが何うしたわけか有學者が無學者に敵わない場合をちよく見受ける。學問に熱心でよく書物を読み何んでもよく知つてゐる。理窟もよい、壇上に立つても雄辯を振ふ。専門學を修め卒業證書も持つてゐる。といった人々の中に家庭に於ては兄弟を困らせても親を泣かせ理窟はうまくも行ひは反對で無學者である身内の人々から厄介者視されてゐる者がある。物識りであるにも拘らず事業を爲せば見込み違ひが多く失敗だらけ實際の上から見れば物識らずに等しく世間の無學者に嗤はれる者がある。専門學を修めたいといふからその道にかけたら定めし手腕を現はすたらうと思つてゐると小商店から素人扱ひされる學校出商人といつたやうなさつぱり物の役に立たぬ各種の専門家がゐる。かやうな滑稽を生じる原因としては——第一は

學問の選定を誤り自己に不適當なことを學んだこと。第二は「學問をする精神」が間違つてゐたため人が學問を使ふのでなく、學問が人を使ふやうな結果に陥つたのである。醫師は威張つてゐて金になるから商業は金儲けが速いから、小説家は熱狂者が多いからなどといふ考への下に學ぶ道を選ぶ者は自分の生れながらにして持つ才能つまり天才を發揮できずして將來を誤り不幸陥る。學問に對する精神は特に大切である、學問にさつぱり興味を乗らずいつそ止めて了はふか——兩親がやれといふからまあやつておこつ——學問さへしておけばどうにかなるだらうといつたやうに心が安定せず熱心に勉強しやうと思ふそばから心のぐらつく者がある。これは學問を精神が間違つてゐるためである、學問は何のためにするかを——まづ第一に定めてかかることが肝要である。學問をすれば役に立つ人間

## 三井の券品商

店服吳井三

### 器灸温ムウチラ

特許賣專 許特賣專

胃腸病 婦人病 其他の慢性諸症 肥り度い人の福音 熱くなく痕つかす無煙式 誰にも出来る理想的家庭治療器

福島縣平町五ノ廿八 志賀齒科醫院

約代理 療 福島縣平町白銀町九 志賀齒科醫院

販理部 産婆 關口悦子

賣部部 産婆 關口悦子

定價表 金拾參圓 藥及特効サツ五週分付 金拾圓 藥及特効サツ五週分付 (説明書呈)

### 醫學博士廿推獎

三十一一年式モダン型 ランドーセダンの 磐城タクシーへ 電五六九

貸切の！ 御用命は……

### 平陽女學校入學案内

文部大臣認可 募集人員

本科	二ヶ年卒業	五十名
師範科	二ヶ年卒業	五十名
技藝高等科	二ヶ年卒業	五十名
全速成科	一ヶ年卒業	三十名
全專攻科	一ヶ年卒業	二十名

右各科共入學ヲ許シマス希望者ハ入學願書ニ履歷書ヲ添ヘ三月末日迄ニ本校宛提出シテ下サイ入學願書ハ本校宛申越下サレバ差上マス

福島縣平町 平陽女學校 電話四四五番

### 磐城共濟病院案内

本院は時局に鑑み入院料並に往診料左の通低減致候間御参考迄申上候

入院料 一日(一)般 金貳圓也 (本會員 金壹圓五拾錢)

往診料 院長及其他の一(一)般 金參圓也 (本會員 金貳圓也)

尙地方往診も之に應じ低減致候間此段申添候

(各科専門 醫擔當)

- 内科 小兒科
- 外科 皮膚泌尿科 整形外科 內臟外科
- 産婦人科 女子泌尿科
- 耳鼻咽喉科
- X光線科
- 物理學的診療科

院長 醫學博士 難波 睦  
本院主 管 賀澤 忠治

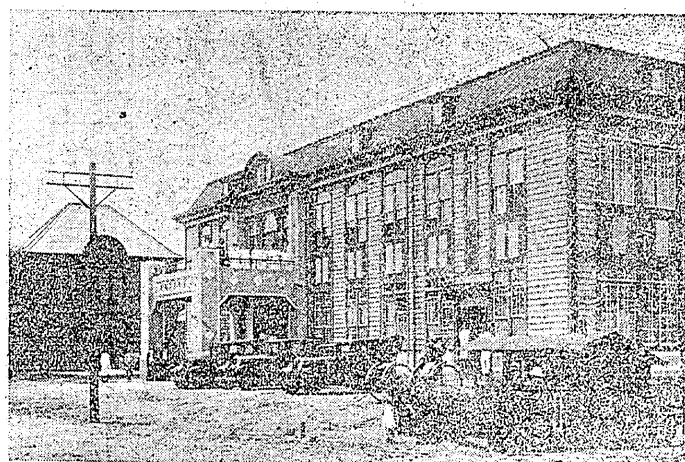
一、衛生試驗所  
一、救氣相談所  
一、治療所

共濟病院内

昭和五年九月

磐城共濟會 平町 電話六四一番

看護婦募集



### 木炭検査の 縣管移管は至難

評議員こそつて反對

濱三郡木炭同業組合では十九日午前十時より各種団体事務所樓上に於て評議員會を開催したが協議事項として本年度豫算一万八千七百七十圓を

決議した。がこれは事業費及事務費を削減した結果前年度より二千九百圓を減額されて居る尙縣當局がら諮問されてある木炭検査の縣管移管については現在一俵につき六厘の木炭検査

料が

縣管移管の結果は一變五厘位に値上げを見るであらうし又木炭検査員も現在十名であるものが五名位に減少される結果となり生産者に不便を感ぜしむる事になるため評議員全部が之に反對して、あるが来る二十二、三の兩日開かれる代議員會に於て協議を遂げた結果縣に對して反對意見を答申する由

### 千二百石を越えた

### お正月用の酒

さて舊の正月にはどの位呑むだらう

平稅務署の調査による石城郡下の酒消費量については本年一月中の新酒八十七石昨年十月十一月、十二月の三ヶ月間合計消費量九十八石、古酒一日中千七百七十九石、十月、十一月、十二月合計五千五百七十七石で前年度の比較を見ると一月中は新酒八百三十七石、十月、十一月、十二月合計九百七十七石、古酒千三百七十二石三箇月合計六千八百二十二石本年度は前年度に比べると千九百一石の大減少をなして居る之は云ふまでもなく不況と緊縮宣傳がさいいた爲めであらう

### 農事講習

本日から

四ヶ村で

石城郡農會主催普通農事指導講習會は今十九日から廿八日まで左記要領で開設するが郡農會青山技師、柴田技手、草野村高木精一、高久村藁谷久太郎兩氏である。△十九日赤井村小學校(農業經營)△同日夏井村小學校(堆肥製造)△二十日から二十四日永戸村(堆肥自家用醬油製造)△二十四日から二十八日川

### 私の感想

母の祈り(下)

金成きみ

子供を育てる事にも其通り食へさせて寒くなく暑くなくさせる、學校へ頼んでさい置けば、小學校中學校を経て大學校出てサラリーマンになつて、お嫁さんを貰つて家庭をつくり、親になつて老人になつてそれで

前村(自家用醬油稻作栽培法)

### シヤツや足袋を貰ひ

貧しき児童の喜び

平鐵道俱樂部の美舉に感涙にむせぶ保護者達

平町役場では過般平鐵道俱樂部より貧民児童救済資金として金一百圓の寄付があつたがこれが配給の方法を

平町第一、第二、第三の各小學校長と協議の結果今回第一小學校三十名、第二小學校二十四名、第三小學校五十三名、合計百七名の貧困児童に冬シヤツ及び足袋をそれぞれ配給し尙第一小學校では雨具を持たぬ児童数名に傘を給與したが中には配給された児童の保護者から學校當局に感謝状を送つたなど父兄から非常に喜ばれて居る

### 鈴木氏就任

神谷收入役

石城郡神谷村、八役神谷龜

終る、何と天下は泰平な事よ、こんな事なら私如き者にも心配なく朗かな氣持にのろ／＼として人生は樂しみにおどる處がさうは行かぬ、身体の成長につれて日に／＼心の成長する彼等は柔い心に現今世界の有様を物珍らしく目を見張り、刺戟に刺戟を追ひ乍らよく卑俗に云ふ芋の煮えたも御存じない間に親の夢さい思はぬ方向へどん／＼さうな

培法

神谷村の

### 緊縮振り

六年度豫算約二千圓減

石城郡神谷村では来る廿五日村會を開き昭和六年度の豫算と同年度の決算を付議する筈であるが總豫算高は二萬三千二百圓で前年度に比して一千九百七十圓の減である

### 奨励金を受けて

防波堤を造りたい

中の作漁港に適はしい計畫

石城郡江名町中の作の漁港は單に漁船ばかりでなく最近避暑客にも使用されるので防波堤の必要を感じ同町吉田傳松、坂部萬藏の兩氏が代表し工費豫算一万二千三百四十三圓を昭和六年度分として共同施設奨励金中より交付して貰ひたいと縣當局へ申請したが右計畫

大切なるはどうしても精神的の努力たゆみなき心の緊張にまつより外は無い、とうしても、心から、精神的信仰です、しんけんなる祈をもつて日々を大切に考へつゝ生活せねばならぬ。美しい祈をもつ主婦の統べる家庭は必ず／＼規律正しく、主は家庭を樂しみ外に出でずは社界の爲に思ふ存分良き事に働き、子はすく／＼と成長し感謝の多い生活の中に堅實な社界民と

して立つ事が出来る事を信する。さうした精神的の美しい家庭が一軒でも益すところ云ふ事は取りも直さず恐しい社界の濁流が少しづつ、清かに澄んで行く事になるのである事を考へる時、私等不束なる者も唯々手をつかねてのみ居られぬ、修養に勉強に努力せねばならぬ美しい祈をもつて考へつゝ生活せねばならぬ。

### 開店披露

お待ち兼ねの天ふら並びに小料理やを開きました

仕出しは迅速に大勉強致します是非お試しにお出を願ひます

二月九日

四丁目(平局前)

よし傳

電話(呼出)五二八番

平新川町十九

### 木村病院

電話一六四番

産科 院長 木村寅次郎

婦人科 女醫 木村 コウ

内臓外科 醫學士 松 永 憲一

整形外科 醫學士 萩原 駿二

藥局 東京藥學士 萩原 駿二

健胃 胃腸を丈夫にする 小野常治謹製

### 滿州の兒童達は…… 如何に教育されるか

▽いろいろな荷澤山の

#### ▽川崎本社長の旅行

愈々明朝五時二十分平發列車で鮮滿地方へ童話の行脚の旅立つ川崎本社長はこの機を逸せず種々なる同地方の視察をなす筈であるが平教育會では既記の如く教育上の参考となるべき左の各項に就いて詳細視察を囑託するところがあつた

- 一、兒童讀物に就いての施設
- 二、消防避難訓練に就いての施設
- 三、兒童後援會(保護者の如きもの)の施設如何
- 四、特に努力してゐる事項
- 五、特殊施設と思ふべき事項

### 湯本町のかるた大會

盛會を極む

石城かるた大會は今十九日午後一時から湯本町公會堂で開催されたが参加者三十余名あり主に町内と平方面から多數集集し頗る盛會を極めた

### 湯本でも校舍増築

湯本入山校と

改稱申請

石城郡湯本尋常小學校では先年來校舍狹隘で假教室を置いてゐたが愈々校舍の増築をする事になつて來る四月末日までに竣工四月の新

二月四日から九日間無一文にて滞在し宿料六圓五十四錢を踏倒して歸しその後請求しても支拂ふ意志がないので十九日前記タキは無錢遊興の告訴を提起した

#### 帝國軍人會へ

五十圓宛寄附

石城郡湯本町鈴木康平、比佐榮一の兩氏は帝國軍人後援會本縣支會に各金五十圓を寄附した、特別會員に推薦される筈

### 宿料踏倒し

無一文にて

九日間泊る  
石城郡箕輪村大和字白井木渡部伊智(三)は同村高野新温泉事渡部タキ方に昨年十

### 人々人!!! 二日市の人の波

珍らしやスリ万引もなく

雪ふりしきる街中を

景氣よく歩いた人々

平町に於ける舊正月二日の大賣り出しは午前零時各商店一齊に開店し午前三時頃からすでに近郊からの人出で非常な雑踏を呈したが本町通りの商店街は「大賣出し」「福引賣り出し」から「爆竹の大投賣等々の大カンパ」を掲げて新販賣術の獵奇をそつて居る

◇  
二日市の人出は平驛の乗降人員を見ると乗客三百十人下車人員二千九百七十二人で前年より乗客五百人降客千四百名の減少を來たして居るが自動車その他で近郊より約三万人の人出あり前年と大差はない模様でこれがため本町通りは一時車馬通行止めとなつた



二十日

報警

今晩も明日も北西風晴

- 前七、〇〇 ラヂオ体操
- 前九、〇〇 氣象通報 經濟市況
- 前九、二〇 料理献立「田螺の味噌煎りウドの甘煮」
- 「東北女子職業學校發表日用品値段」
- 前九、三〇〇 經濟市況
- 前一〇、三〇 家庭講座
- 「三才流盤景に就て」 鶴錦川若
- 前一一、四〇 經濟市況
- 正午 時報
- 後〇、〇五 映畫物語「盛り場の大相撲」渡邊一秀
- 伴奏佐藤倉平
- 後〇、四〇 全國ニュース
- 後一、〇〇 經濟市況
- 後二、〇〇 家庭大學講座
- 「獨逸文學古典主義の文學」第五講 文學博士山岸光宣
- 後二、三〇 經濟市況
- 後三、四〇 氣象通報
- 後三、五〇 經濟市況
- 後四、〇〇 全國ニュース
- 後五、〇〇 緬羊講座「羊と人生に就いて」齋藤莊次郎
- 後五、三〇 經濟市況 今晚の番組豫告
- 後六、〇〇 (子供の時間)少年運動講座「ホッケー」中川新右衛門
- 後六、三〇 英語講座「初等科(一)」岡倉由三郎
- 後七、〇〇 全國ニュース
- 氣象通報 番組豫告 告知事項
- 後七、二五 講演「國寶の建築物に就て」其の二 工學博士 關野貞
- 後八、〇〇 謡曲「養生流 謡曲鐵輪」坂崎豊治
- 後八、三〇 常磐津「道行 戀三度笠」梅川忠兵衛
- 浄瑠璃常磐津三三松 同
- 常磐津三代文字 三味線 常磐津喜久松 上調子常磐津文字三和
- 後九、〇〇 義太夫「繪本 太功記尼ヶ崎の段」竹本素女
- 後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫告 告知事項

### 専用自動車を出せと

### 泥酔漢大威張り

赤井行の筈が

一路平署へと

石城郡赤井村筒井炭礦坑夫高橋幸七郎(三)は十八日午後三時半頃飲酒泥酔して平町才植小路地自動車部方に來り赤井までの専用自動車を出せと亂入し手當り次第の物を取つて投げるので

### 瓦代も拂はずに

### 新築家屋を賣却

悪差配は無財産

平町下川セメント瓦製造業根本毅一氏は十九日平町三丁目岩本淺吉を相手とつて平署へ詐欺の告訴を提起したが原因は岩本が去年十二月同町南町に家屋を新築した際屋根瓦七十圓分を貸與したがその後數回請求しても言を左右にして應じないのみか去る十六日突然新築

### 謹告

今回弊社取締役社長川崎文治氏滿鮮旅行に出發留守中は取締役佐々木龍若氏一切の業務を擔當可仕候間何卒不相變御愛顧の程偏へに奉懇願候

### 常磐毎日印刷株式會社

平町長橋町三五(電六三〇番)

### 御挨拶

南滿洲鐵道株式會社からの招きに應じ同社經營に係る沿線二十餘ヶ所の小學校に童話行脚の爲め廿日午前五時廿分平發列車で出發する事になりました。來月下旬には歸平する豫定で御座います。此際一々御挨拶に參上致さねばならぬので御座いますが出發前の準備で何彼と慌しい際の爲め甚だ失禮をも願みず紙上で御挨拶申上げ末筆ながら御清榮を祈ります。

### 川崎文治

### ゲーム取募集

詳細御來談下さい

### ピリヤード一の井

平町字田町

# 例品付大賣出し

## 吉原香品付大賣出し

平素の御引立に報ゆるため格安品を豊富に取揃へ御奉公大提供!

舊正月二日三日四日の三日間

### ふかや洋服店

### 美味しいパン

食パン	1斤	14
アンパン	6ヶ	10
クリームパン		04
ジャムパン		04
パンツ		04
甘食パン		04

目丁四平

## ヤトモツマ

番四一二話電

### 専門 内科一般

宅診 内科は何でも診療致します  
往診 呼吸器病ばかりではありません  
平町南町六五

## 川井内科診療所

醫學士 川井重之  
女醫 川井安子  
電話一八一番

### おぼえ

東京橋場刺 (米田安藏)



「千次、いいところだ、何うも女ばかりではと思つて居たので丁度好かつた、お前、苦勞でも人と一緒に居つてお呉れ、少しばかり當りが着いたから」

「アッ、然うですか、夫りやア大きに都合が好かつた、遠方では「ナア」直此の先なのだよ」

「ヘ、好うがす」

此處で船を離れ、六郷を渡つて千次は船に引添つて急ぐ。川崎を川外れ、牛込に近くなつた時、船がトント降りた。

「サア来ましたとせ」と船がききは垂れを別れる。

其處は少し高い所の様な場所、一方は海を見下ろし、一方はテラテラ草履の百姓が見え、桃の花は彼方にも此方にも咲いて居る、街道端で前に船の釣つて居る、馬車を並べた小作の茶屋の前であつた。

川崎の女共は……船を神奈川へ送つて行く、千次は船を離れて、千次は船を離れて、千次は船を離れて……

「是れは何も小間物屋の旦那でけしたか」

「千次は三河屋の子分を下ッ引をして居る事を承知して、丁度頭を下げた」

「カラ世辭は置かね、手へに少し用があるんだ」

千次もイザとなると手先らしい態度になれると、お千代は感心して居た。

實際千次の船を知つた奴が居やうとは聞いて来たものでは無かつたが、一應探る事を任せたのは好都合だと思つて居る。

「え、御親造、あれでござい、わつし共の船を引つて居る連れ来たのは……」と船がき耳打ちをした。

「さうかね」

お千代はツカ／＼と茶屋へ入つた、船が千次の船を引つて居た、千次、船を引つて居る、お千代、船を引つて居る、お千代、船を引つて居る……

「何を言つて居やがる、川崎で何もかも聞いて来たんだ、案内人として手へ、遠の飛つた船を連れて来た、神妙にして」

「い、い、い、夫れが間違ひだ、船を引つて居る」

茶屋の婆アが何處からか出て来てウロ／＼して居る。

### 看護婦急派

の求めに應じます

平町南町  
看護婦會  
電話三〇七番

### 梅毒 淋病

皮膚病 婦人病 腸胃病

門專 十二指 腸虫病

## 松村科醫院

平町南 電話一七〇番

### 印刷物の御用命は總て

常警日印刷株式會社

電話三六〇番

### 耳鼻咽喉科専門

氣管食道科

平南町(舊診療所向)電話一七〇番

## 大和田醫院

### 益々上る此人氣

## 富士カメラ

附屬 品付 タツタ一圓

よく寫るので大評判

金屬製フレックス形の高級品です位置見完全で他のカメラより非常に便利に出来る居りますお待兼ねのどなたにも簡易に出来る最上引伸器が出来ました 附屬品付金二圓五十錢

### 第二回懸賞寫眞募集

(應募規定)

- 富士カメラ使用の寫眞に限る事
- 寫眞は風景及び人物の事
- 寫眞は必ず台紙に貼付け裏面へ住所氏名明記の事

應募寫眞は一人三枚迄で但一人一賞の事

べ切は昭和六年二月二十六日(舊正月十日)

應募寫眞受付は「いづみや玩具店」

發表は同二月二十八日(土曜日)「いづみや玩具店」頭 翌日常警毎日新聞へ掲載

審査は主催者に一任する事

特等 最上引伸器 一個一人

一等 ニツケル製三段折タ、ミ式 二ケ二人

二等 大判アルバム 六人

三等 富士印畫紙二打入一袋十五人

選外ハ畫紙一枚ツツ

主催 いづみや玩具店 (電話呼六二〇番)

後援 常警毎日新聞社